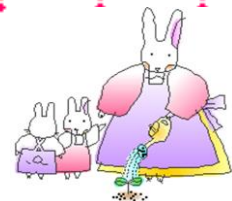


# がん患者さんとご家族のための おしゃべりサロン

都立駒込病院  
サロン便り No. 64  
(2017年5月発行)



2017年4月14日に第71回“おしゃべりサロン”を開催しました。体験者14名（男性4名、女性10名）が参加されました。今回は①民間の医療保険について、②どうやって前向きになれたのか、③がんになってできなくなった事、④何気ない言葉に傷ついた事等の話題が出ました。参加者の体験に基づく生き方や情報提供で盛り上がりました。



本日のサロンは三つのルール(①自分のことは自分の言葉で話す、②お話は評価することなく聴く、③ここでの話はこの場限りにする)をお約束し、自己紹介から始まりました。フリートークで語られた心に響いた言葉を紹介します。

○がんになっても入れる保険があったら検討したいので教えて欲しい。

○5年以上経つが後遺症は全く変わらない。お腹に朝、昼、夜の食べ物が入ると吐くのが当たり前の生活。身体が弱くなって何かあると熱が出る。

○「何でがんになったんだろう？」と思い、やる気も起きず、考えることもできない。退院したばかりの頃の方が元気だった。

○前向きに生きるって何だろう。みなさんの心がスパッと晴れた日は、どのような時だったか知りたい。

○「若いから進行が早くて大変ね」という言葉に傷ついた。悪気のない言葉に傷ついた時、皆さんはどのようにされたのか教えて欲しい。

○5年間何もなければ入れる保険もあるが、条件があるので保険料のリスクとバランスも考えて、入らない選択も考えられる。

○出来ないことを数えるよりも、できることを考え、心も体も休めてあげる。

○医療者との温度差はあるが、視点を変えることが大事と思っている。

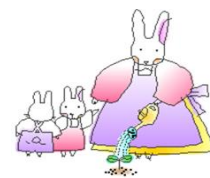
○治療中はがんの壁が厚いガラスのように感じていたが、その壁は自分で作っていたと今は思える。

○負のスパイラルに落ち込んでしまった時、闘病中の方からの「明けない夜はないよ」の言葉に救われた。

○病気であっても病人ではないという言葉に号泣した。胸に響く言葉を取り入れてほしい。

患者さんやご家族のお話を聞いて、ご自分の思っていることを話してみませんか。スタッフ一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 次回・次々回のご案内



- 日時：毎月・第2金曜日（13時～15時）  
2017年6月 9日（金）  
2017年7月14日（金）
  - 場所：都立駒込病院 本館3階  
患者サロン(中央エレベーター横)
  - 対象：主にがん患者さん・ご家族  
どちらの医療機関に掛かっている  
も参加出来ます。
- \* 予約はいりません / 参加費は無料です